

平成 24 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名	セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 里 見 治 (コード番号 6 4 6 0 東証第一部)
問 合 せ 先	グループ 代表室長兼グループ コミュニケーション室長 上 田 晃 一 郎 (電話番号 0 3 - 6 2 1 5 - 9 9 5 5)

株式会社セガにおけるコンシューマ事業の構造改革について

当社は、平成 24 年 3 月 30 日開催の取締役会において、下記のとおり、当社子会社である株式会社セガのコンシューマ事業を構造改革することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 理由

セガを中心としたコンシューマ事業は、欧米における厳しい経済環境ならびに家庭用ゲームソフトの市場環境の急速な変化を受けて、平成 24 年 3 月期においては、営業損失を計上する見込みとなりました。

かかる状況を受け、翌期以降のコンシューマ事業の収益改善、および成長軌道への回帰を実現するためには、欧米市場における家庭用ゲームソフト分野の組織を合理化する一方、モバイル・オンラインゲーム分野の開発を強化する等、環境変化に適応した体制への転換が必要不可欠であると判断いたしました。

2. 施策内容

(1) 組織の合理化

欧米市場における家庭用ゲームソフト分野を担当する組織を合理化し、安定的に収益を創出できる体制を構築いたします。

(2) タイトル数の絞込み

欧米市場向けタイトルの収益見通しを厳格に精査し、翌期以降は「Sonic the Hedgehog」、「Football Manager」、「Total War」、「Aliens」等、確固たる収益が期待される有力な IP に販売を絞り込みます。それに伴い、開発を進めていた一部タイトルの開発を中止いたします。

(3) 開発中タイトルの仕掛品の評価減

当期末から翌期にかけて欧米市場において販売するゲームソフトに係る仕掛品の収益性を再評価し、一部タイトルの仕掛品を評価減いたします。

(4) 在庫の処理

欧米市場における組織合理化に伴い、現在流通している市中在庫を含め、ゲームソフト在庫の費用引当処理を行います。

3. 当該子会社の概要

名 称	株式会社セガ
所 在 地	東京都大田区羽田 1 丁目 2 番 12 号
代表者の役職・氏名	臼井興胤（代表取締役社長 C00）
事 業 内 容	アミューズメント機器の開発・製造・販売、アミューズメント施設 の開発・運営、ゲームソフトウェアの開発・販売
資 本 金	600 億円（平成 23 年 12 月 31 日現在）

4. 今後の見通し

平成 24 年 3 月期において、構造改革に伴う費用として、49 億円を原価として、71 億円を特別損失として計上する予定です。平成 24 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「特別損失の発生および業績予想修正のお知らせ」をご参照ください。

コンシューマ事業においては、翌期以降、今回の取り組みによって営業費用の減少を見込みます。

※本資料内に記載した数値や業績予想等につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上